



DX化における企業の自動化と高い生産性における利益基準の転換

令和7年6月25日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

デジタルトランスフォーメーションは、全ての製品や企業データを自動化における分析と解析において、企業経営の健全なデジタル化を実現できるものです。

これらは確実な企業管理体制と生産管理を与えるものであり、個別製品における流通や顧客へのアフターケア、部品管理など共有のシステムにおける企業管理を実現できるものです。

これらはスマートファクトリーなど、自動化とともに、生産性、品質の飛躍的な向上を実現できるものであり、それらが企業に対して飛躍的利益性の向上を実現できるものです。

これらは経営における正しい企業判断がこれら新たな企業のかじ取りを与えるものであり、それは企業製品とサービスの確立がこれらを決定する新たな基盤であると考えます。

これらは企業の飛躍的な生産性と効率性の向上が与える新たな利益環境が今日の経済の大きな変化なのである。

これら新たな資本力が新規開発投資とともに、革命的な変化を構築しているのである。これらは人員の削減や高い企業の効率化における企業の有する潤沢な企業資本という新たな市場ルールを与えるものである。

これらは実体経済のプレゼンスが拡大しているものであり、それらは資本力という経済の基盤において、新たな技術革新とともにその大きな変化が存在するものである。

これらは新たな現実への転換が経済の潮流として存在するものであり、それらが、社会と現実の大きな変化を与える基盤なのである。

これらは世界の変化を経済がけん引するものであり、それらは新しい未来という共有のゴールを有するのである。